

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月18日

計画の名称	栗原地域住宅等整備計画（第 期）												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	栗原市												
計画の目標	<p>新耐震基準以前に建設されたストック住宅の建替えを推進し、法的基準確保や災害時の安全を確保することにより、良質で安心できる賃貸住宅を低所得者や住宅困窮者等に提供します。</p> <p>栗原市公営住宅等長寿命化計画により、建替え対象住宅と判定した五輪東・東館住宅、鶴町住宅、塚原住宅の建替え事業を実施します。</p> <p>用途廃止予定住宅の解体工事を行い、管理戸数の適正化を図ります。</p> <p>公営住宅ストックの計画修繕・改善により効率的かつ円滑な更新を行うことで、公営住宅ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、入居者の安全安心と快適な環境を提供します。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,130	A	1,005	B	0	C	125	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	11.06	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 （R3当初）	中間目標値 （R5末）	最終目標値 （R7末）
1	耐用年限を経過した住宅の比率 建替事業及び解体工事等の事業実施をもとに算出 （耐用年限経過戸数比率）=（耐用年限を経過した戸数）/（管理戸数）	16%	15%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	公営住宅等整備事業	五輪東・東館住宅12戸, 鶴町住宅9戸, 塚原住宅22戸	栗原市						893		策定済
	A15-002	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	地域住宅政策推進事業	4団地27戸(柳沢星ヶ丘住宅8戸, 佐野前住宅5戸, 秋法住宅10戸, 秋法第2住宅4戸)	栗原市						50		策定済
	A15-003	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	長寿命化計画策定のための調査	栗原市						8		策定済
	A15-004	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	対象は公営住宅	栗原市						0		策定済
	A15-005	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	市営五輪東住宅A棟改修工事	栗原市						54		策定済
											小計						1,005		
											合計						1,005		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	市営住宅駐車場整備事業	五輪東12台, 鶴町9台, 塚原22台	栗原市						12		策定済	
	市営住宅の建替事業と同時に実施することにより、住環境の向上・現入居者の移転を進める効果がある。																			
	C15-002	住宅	一般	栗原市	直接	栗原市	-	-	市営住宅建替対策事業	五輪東・鶴町・塚原住宅の入居者移転補償費, 東館・鶴町住宅の既存住宅解体など	栗原市						113		策定済	
	市営住宅建替のための入居者移転の促進、早期の工事完成に効果がある。																			
											小計						125			
											合計						125			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	34	64			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	34	64			
前年度からの繰越額 (d)	0	18			
支払済額 (e)	16	72			
翌年度繰越額 (f)	18	10			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 栗原地域住宅等整備計画（第 期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 地域住宅計画を公表することとしている。	○
III. 計画の実現可能性 地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	

計画の名称	栗原地域住宅等整備計画(第Ⅲ期)			整備計画
計画の期間	令和3年度～令和7年度	交付対象	栗原市	

